

ば、この個体はしっぽがちょっと短い、毛にぶちがある、太っている、耳が片方たれている、などの特徴 — で区別するのではなく、無限に存在する個体を意味があるまとまりとしてまとめ、「同じモノ」に共通の特徴のみを問題にして、世界を整理していけることである。

、「カテゴリー」というと、一般的には「モノのカテゴリー」のことだけを考えがちである。しかし、(い) ことばが指し示すカテゴリーはモノに限らない。例えば、人が行う動作は無限にある。その中で、私たちは「走る」、「歩く」、「跳ぶ」、「運ぶ」、「(ウ) カツぐ」、「置く」、「入れる」など、さまざまな動作をある意味の基準に従ってくり、カテゴリーをつくって、それに動詞という③ (a. レベル b. ラベル) をつけているのだ。つまり、様々な状況で行われる、無限に存在する動作を、動詞によってカテゴリー化し、整理している④ (a. はず b. わけ) である。

次に、モノとモノとの空間の位置関係を、ことばがどのように表現するか、あらためて考えてみよう。ここでもまた、無限に存在するモノ同士の空間上の位置関係を、ことばがカテゴリーにまとめ、整理しているということがわかる。

モノAがモノBの「前にある」「後ろにある」「横にある」「左(右)にある」「上にある」「下にある」「中にある」などの表現を考えてみよう。ここにおいて、モノA、モノBは何でもよい。人でも、動物でも、家具でも、道具でもかまわない。二つのモノが置かれている場所も、どこでもよい。前記の表現では、二つのモノの間の距離も関係ない。つまり、言語は三次元空間上に無限に存在する二つのモノの位置関係を、非常に限られた数の「位置関係のカテゴリー」に区分けし、整理しているのである。

ここで(エ) 素朴な疑問がわいてくる。私たちが「見ている」世界は、ことばが切り分ける世界そのものなのだろうか。それとも、ことばが切り分ける世界は、私たちが「見ている」世界とは別のものなのだろうか。これは考えてみると、なかなか深い問題である。

世界には非常に多数の言語があり、(う) 世界をどのように切り分けていくかは、言語によって大きく異なる。もし私たちがことばを通して世界を「見ている」とすれば — つまり、私たちが見ている世界が、ことばが切り分けている世界そのものであるのなら —、異なる言語を話す人たちは、世界の見方や思考のあり方がずいぶん(あるいはまったく)異なるはずだ。

(今井むつみ 『ことばと思考』岩波新書 2010年 一部改変)

問1 (ア)～(エ)のカタカナを漢字に、漢字をカタカナに直しなさい。

(ア) ヤクワリ (イ) 伝 (ウ) カツ (エ) 素朴

問2 、、に入る最も適切な言葉を次の a, b, c, d, eの中から

選んで記号を書きなさい。

a. または b. しかし c. さて d. つぎに e. そして

問3 (1)～(4)の()の中の言葉を適切な形に変えなさい。

問4 ①～④に入る最も適切な言葉を、a, b から選んで記号を書きなさい。

問5 (あ)「世界をカテゴリーに分ける」とはどういうことか。本文の言葉を用いて40字以内で述べなさい(句読点記号を含む)。

問6 (い) 「ことばが指し示すカテゴリーはモノに限らない」とあるが、モノ以外に何があげられるか。本文中から20字で抜き出さない(句読点記号を含む)。

問7 (う) 「世界をどのように切り分けていくかは、言語によって大きく異なる」とあるが、どのようなことを示すか。本文中で示された具体的な例を用いて50字以内で述べなさい(句読点記号を含む)。

問題II 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。(45点)

問1 次の文の _____ にはどのような言葉を入れたらよいか。a, b, c, dの中から最も適切なものを一つ選んで記号を書きなさい。

(1) 人は意見が違う _____ よく話し合うことが大切だ。

- a. からといって b. からして c. からこそ d. からでは

(2) 向こうが間違っているのにあたかもこちらが間違っている _____ 非難された。

- a. が早い b. かのごとく c. ならまだしも d. にもかかわらず

(3) あのモデルはデザイナー _____ 世界中で活躍している。

- a. にしても b. といっても c. においても d. としても

(4) どんなに反対 _____、留学への思いは変わらない。

- a. されつつ b. されようとも c. されながら d. されようにも

(5) 努力 _____、コンクールで優勝できなかった。

- a. のかいもなく b. のおかげで c. を抜きにして d. をきっかけに

問2 次の文の _____ に適切な語句をおぎなって、文を完成させなさい。

(1) 嫌な思いをしてまで、 _____。

(2) 仕事が忙しいにしろ、 _____。

(3) _____ がてら、 _____。

(4) _____ ためしがない。

問3 次の言葉の使い方として最もよいものを、a, b, cの中から一つ選んで記号を書きなさい。

(1) ことごとく

- a. 料理はほとんどせず、ことごとく外食です。
- b. 本日の検査はことごとく終了です。
- c. いろいろな案を出したが、ことごとく否定された。

(2) どうせ

- a. がんばったが、どうせ失敗した。
- b. がんばってみても、どうせ無理だ。
- c. がんばるので、どうせ応援してください。

(3) てこずる

- a. 作者が1年間もてこずって作った作品だ。
- b. 試験中、計算にてこずって時間が足りなくなった。
- c. 終わったことにてこずって先に進めない。

(4) 肩を落とす

- a. 結果を知って肩を落とした。
- b. 肩を落とす覚悟で勉強した。
- c. 相手が強すぎて肩を落としてしまう。

(5) モチベーション

- a. モチベーションを変えるために休みを取った。
- b. モチベーションを越えるために努力した
- c. モチベーションを上げるためにはどうしたらいいだろうか